

力強く! 沖縄角力



10月20日(日)、「第2回復活普天間沖縄角力大会」がサンフティーマにて開催されました。昨年、約50年ぶりに復活した同大会。普天間地域の活性化に向けたイベントとして今年も開催され、迫力あふれる熱戦に会場は大いに盛り上がりました。

ごみ減量化へ! ダンボールコンポスト



9月28日(土)、「ダンボールコンポスト講習会」が新城区公民館にて市婦人連合会会員を対象に開催されました。ダンボールコンポストとは、生ごみを堆肥化する方法です。講習会をとおして、ごみの減量化を学びました。参加者からは「ごみの減量化について考えさせられた」などの感想が寄せられました。

シルバー人材センターが街をきれいに!

10月19日(土)、市シルバー人材センター(宮里憲輝理事長)会員による草刈、清掃作業が行われました。これは、シルバー事業の普及啓発を図る目的で、10月の事業普及啓発促進月間の第3土曜日を全国統一の「シルバーの日」と定め、ボランティア活動を毎年実施しています。今回は、伊佐第二児童公園通りと遊歩道沿いの歩道清掃及び植え込み部分の除草作業を行いました。平均年齢72歳のシルバー会員が手にカマ、竹箒、ごみ袋を携え、2時間余で見違えるほどきれいになり、「ご苦労さん」「お陰様で通りがすばらくなった」と地域住民から喜ばれました。



こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

琉球国王普天満御参詣歴史絵巻行列!

10月14日(月)、「第1回琉球国王普天満御参詣歴史絵巻行列」が開催されました。普天間中央通りから出発し、沿道の多くの観客が見守る中、普天間神宮までの道のりを歩きました。また、御参詣の一行が到着すると華麗な琉舞や力強い空手の演舞が披露されました。歴史絵巻行列を市民参加で行うことで、普天間地域の活性化と市の観光振興を図りました。



あいさつは心と心を結ぶ魔法の杖!



10月21日(月)、まちでニッコリあいさつ声かけ運動推進リーダー養成講座が社会福祉センターで開催されました。フリーアナウンサーの佐渡山美智子さんを講師に招き、小学生から大人まで約130人が参加しました。佐渡山さんは、「言葉に想いをのせ、笑顔で一語ずつ丁寧にあいさつしましょう」と話しました。参加者は、あいさつを通して地域のコミュニケーションをとる大切さをあらためて学んでいました。

我如古スンサーミー保存会発足



10月14日(月)、これまで我如古婦人会にて継承され、平成7年に市無形文化財に指定されていた伝統芸能の我如古スンサーミーの保存会(翁長ヒロ子会長)が結成されました。今後、保存会を中心に保存・継承していくことになります。

うちな=ぐちを大切にしましょう!



10月1日(火)、「うちな=ぐち講師養成講座」(主催:宜野湾市うちな=ぐち会)が、愛知区公民館にて開催されました。12月まで全10回の講座となります。

車いすの寄贈がありました



10月3日(木)、大同火災海上保険(株)の上岡優代表取締役社長らが市役所を訪れ、車いす2台を寄贈しました。車いすの寄贈は平成2年以来、毎年県内の自治体や団体へ行われており、本市へも15回目となり、延べ39台の車いすが贈られています。寄贈していただいた車いすは、福寿園にて活用されています。

JICAボランティアとして海外へ!



9月27日(金)、国際協力機構JICAのボランティアとしてパラグアイへ派遣される伊波良剛さんが佐喜真市長を訪問しました。伊波さんは9月から約2年間、看護師として活動します。

ポンプ車操法、23年ぶり優勝!



10月9日(水)、第40回県消防協会中部地区消防団操法大会において、宜野湾市消防団がポンプ車操法の部で1位となり、地区代表として県大会へ出場することになりました。また、小型ポンプ操法の部において女子が2位、男子が3位と各種目ともに上位入賞を果たしました。

地域の子どもたちへ遊具を寄贈



9月27日(金)、サンフティーマの運営・管理を行っている(株)ティ・エム・オ普天間(與那嶺務代表取締役)が、普天間小学校へ竹馬、普天間第二小学校へサッカーボールを寄贈しました。地域への日頃の感謝と子どもたちの健やかな成長を願い、毎年取組みが行われています。

防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。☎ 896-2401